

## デフリンピックは夢の舞台です

デフバスケットボールで、東京 2025 デフリンピックへの出場を目指す越前由喜さん。2015 年、15 歳のとき史上最年少で日本代表に選ばれ、デフバスケットボール世界選手権に出場しました。2018 年 U21 デフバスケットボール世界選手権では銀メダルを獲得。さらに、デフバスケットボールチームだけでなく、きこえるチームにも所属し、福島教員チームの一員として 2024 年 3 月の全国社会人選手権で 3 位入賞するなど、幅広いフィールドで活躍しています。



越前 由喜（えちぜん ゆうき）

Yuki ECHIZEN

1999 年福島県生まれ

福島県内の特別支援学校教諭として勤務

一般社団法人福島県聴覚障害者協会会員

東京都を活動拠点とするデフバスケットボールクラブチーム スクラッチ scratch所属

―出場を目指しているデフリンピックの競技種目を教えてください。

デフバスケットボールです。

―バスケットボールをはじめたきっかけはなんですか。

バスケットボールをはじめたきっかけは、小学校 3 年生のときで

す。

小学校まで、地域の小学校に通っていたので、きこえる方たちと一緒に勉強していました。

もともと野球が大好きで、グローブ・バット・ボールを父に買ってもらい、一緒に練習をしていました。

学校ではソフトボールの体験会に参加したこともあり、野球に本格的に取り組もうと決めた前日に、たまたま同じクラスの友達から、バスケットボールの体験に誘われ、練習を見に行っただのがきっかけです。

ボールをつく振動が体感で伝わってきて、今まで感じたことがない感覚に衝撃を受けました。そして、シュートが決まったときのネットが揺れる気持ち良さに感動し、バスケットボールを始めることを決めました。

このとき、バスケの体験に誘われなかったら、今頃野球をしていたのかなって思います。ちなみに、デフリンピックの競技種目に野球はありません。



—デフバスケットボールならではの特征やルールはありますか。また、魅力とか見どころありましたら教えてください。

ルールは基本的に、一般のバスケットボールと全く同じです。

違いは情報保障という面です。きこえない代わりに視覚で情報を得るようになっていきます。

例えば、審判の笛ですが、審判は笛を吹くと同時に旗を高く上げて合図します。コート対角にはフラッグマンがいて、旗を振って合図します。

体育館によって違いますが、終了のブザーが鳴ったとき、バスケットゴールのバックボードの周りが光って知らせてくれます。

### 【参考情報】

オリンピックとデフリンピックはルールが同じです。パラリンピックは、障がいの程度によりクラス分けをし、それに合わせたルールとなっています。



ーバスケットボールは、小さい頃からやっていたらしゃるということですが、デフリンピックを目指すことになったきっかけは何ですか。

バスケを始めたのは小学校3年生ですが、デフバスケを知ったのは小学校5年生です。

父がパソコンで調べて、デフバスケを見つけてくれました。

デフバスケのチームは福島になかったなので、埼玉のチームに入り

ました。高校生まで、埼玉のデフバスケのチームで活動をしていました。

中学1年生のとき、チームメイトにデフバスケットボールの日本代表選手がいました。そのとき初めてデフバスケの国際大会があることを知り、自分もいつか日本代表になりたいという気持ちが大きくなりました。それがきっかけです。

—埼玉まで通って練習してたのですか。

はい。父に車で送ってもらって、月に1回は通っていました。

父が車の運転が好きだったので、送迎してもらうことができたのだと思います。

国内のデフバスケの大会には、中学生から出場できますが、小学生は出場できません。また、中学生以上が同じコートで試合をするため、体格差が大きく、中学1年生から3年生まではベンチで応援するだけで、試合には出られませんでした。



—あなたにとって、デフリンピックとは何ですか。

デフリンピックは、私にとって「夢の舞台」です。

オリンピックを目指すアスリートと同じく、デフアスリートが目

指す場所です。デフリンピックに参加できるだけでも光栄だと思っています。日本代表になって、結果を残したい、メダルを取りたいと思っています。

デフリンピックに出場することが、大好きな家族への恩返しだと思っています。

—奥様もバスケットボールをされていますか。

妻はバスケットをしません、私と会ってからバスケットに目覚めたようです。プレーはしませんが、見るのは大好きです。私が参加する大会はほとんど見に来ます。

パリオリンピックのバスケットは一緒に応援をしていました。午前0時開始の試合も、午前2時まで一緒に応援しました。

—競技をする上で、ここが難しいとか、苦労していると感じる点がありますか。

聞こえ方には個人差があり、手話を使う人もいれば使わない人もいます。そのため、コミュニケーションには工夫が必要です。



—どのようにコミュニケーションを取るのですか。

選手同士で手話の勉強をしたり、ホワイトボードに書いたりして、コミュニケーションを取っています。

試合中は、手話ができる人同士は手話をしますが、手話ができない人にはアイコンタクトや身振り、サインなどを使ってコミュニケーションを取ります。

私のポジションはガードなので、試合をコントロールし、指示を出しています。

次はどういう動きをするかという指示を出しますが、頭をさわったり、身振りでフォーメーションの指示をし、みんなの動きをコントロールしています。

全て身振りで指示を出す訳ではなく、そのときの状況に合わせて、視線を合わせて、アイコンタクトでサインを送ったりしています。

—日頃から一緒にプレーしている仲間には分かると思うのですが、デフリンピックで招集されたメンバーとのコミュニケーションは、いちからなので大変ですよ。

チームになってからの練習期間がどれぐらいになるかわからないんですけど、そこからですよ。今までの経験だと、全国から月1回集まって練習します。



—東京 2025 デフリンピックは、初回の大会から 100 周年を迎えるとともに、国内で初開催となる記念すべき大会となります。さらに、サッカー競技が福島県で開催されることになりましたが、このことについて思いを聞かせてください。

私は地元が福島県なので、地元でのデフリンピック開催は誇りです。

地元でデフリンピックが開催することは誇らしいですが、デフバスケットは東京都大田区の体育館での開催なので、残念ながら福島でプレーをすることはできません。

福島の皆さんには、Jヴィレッジだけでなく、ぜひとも大田区の体育館にも応援に来ていただきたいです。



—東京 2025 デフリンピックへの意気込みや目標などをお聞かせください。

まずは、デフリンピックの日本代表に選ばれることが目標です。

そのためには、日頃の練習を頑張っていきたいと思います。

日本代表に選ばれたときには、きこえない子どもたちにも自分が活躍する姿を見せたいです。

東京でデフリンピックを開催する意味は、日本でこのような大き

な大会が珍しいことなので、ぜひ、子どもたちに私たちの頑張っている姿を生で見てほしいと思っています。

私も先輩から夢をいただいたので、次は私が子どもたちに夢を与えたいと思っています。

先ほども話しましたが、大好きな家族のために頑張りたいという気持ちが大きいです。デフリンピックは、家族に恩返しできる場だと思っています。ぜひ日本代表に選ばれ、活躍したいです。



※「LOVE」「FAMILY」と刺繍をしたバッシュ

また、私は教師をしているので、教え子たちにも自分の試合をしている姿を見せたいと思っています。

—何年生を担当していますか。

5年生です。身体障がいのある学校に勤務してます。

校内には手話を必要とする子どもや私が生徒としてろう学校にいたときに教えてくれた先生方が数名いらっしゃるので、学校でも手話で会話をしています。

—プライベートな質問に入ります。

休日はどのように過ごされていますか。

基本的に家にはいないことが多いです（笑）

バスケの練習やジムへトレーニングに行っています。

妻とカフェに行ったりもします。妻には日頃我慢してもらっていることもたくさんあるので、休みの日は、妻と一緒に外掛けしたりゲームをしたりしています。

—ご結婚して何年になるのですか。

2年です。

—奥様はお仕事をされていますか。

妻は聴覚支援学校の先生です。ちなみに妻はきこえます。



—リフレッシュ方法は何ですか。

私にとってのリフレッシュは、バスケです。バスケをしないとストレスが溜まるんです。バスケをしていないと、いろいろ考えてしまうので。

仕事のことや悩みも、バスケをしていると集中して何も考えないでいられます。バスケがないとやっていけないと思います。

休日には、バスケの試合をテレビで見たり、ゲームもバスケのゲームをします。

—ゲームまでバスケとはすごい！バスケづくしですね。バスケの練習は月1回ですか。

教員のチームの練習は週1回です。土日はデフバスケの練習や合宿があったりします。今は東京のチームに所属しているので、県外で練習をします。

—勝負めしはありますか。

高校までは実家にいたので、母にカツフライやそのときのリクエスト料理を作ってもらっていました。

大人になってからは、逆にこれというものに拘らないようにしています。拘ってしまうと調子が崩れるのも嫌なので（笑）

—奥様の料理で好きなものは何ですか。

肉の海苔巻き。ハンバーグみたいな肉を海苔で巻き、たれで味つけるものです。妻が新潟出身なので、新潟の料理なのかは分かりませんが、とにかく美味しいです。



—最後に、応援してくれるみなさんへメッセージをお願いします。

来年、東京 2025 デフリンピックが開催されます。福島でもサッカー競技が行われますので、少しでも多くの方々にデフリンピックのことを知っていただきたいです。

デフリンピックを通して、私たちきこえない人の存在をもっと知って欲しいです。

まだまだ、いろいろな場所で、きこえる人ときこえない人の壁を感じることがあります。きこえない人の存在や生き方を自分の活動を通して知ってほしいと思います。

最後に、今年の7月、大好きな祖父が亡くなりました。デフリンピックで活躍する姿をいちばん見せたかったのですが、それができなくてとても残念です。天国から応援してくれていると思うので、代表に選ばれ活躍できるよう、一生懸命頑張りたいです。そして、応援してくれるたくさんの方のためにもデフリンピックで活躍する姿をお見せできるように1日1日を大切にしていきます。